

2025 年 2 月 17 日

各位

ENEOS Xplora 株式会社

米国 Petra Nova CCUS プロジェクトにおける CO₂回収量 500 万トン達成について **～大量の CO₂回収と原油の生産量増加の双方を実現～**

当社（社長：中原 俊也）の連結子会社である Petra Nova Parish Holdings LLC が米国テキサス州で運営する CCUS<注 1>事業である Petra Nova CCUS プロジェクトは、2025 年 2 月に、温室効果ガス（CO₂）回収・貯留量が累計 500 万トンを達成しましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、米国テキサス州の NRG 社・W.A.パリッシュ火力発電所<注 2>から排出される石炭燃焼後の排ガスに含まれる CO₂を分離・回収し、同州内のウェスト・ランチ油田までパイプラインで輸送の上、CO₂を油田へ圧入することで、CO₂の地下貯留と同時に原油増産へ繋げる世界有数の規模を誇る CCUS プロジェクトであり、2017 年に商業運転を開始しました。本プロジェクトにおける CO₂回収プラントは、燃焼後排ガスから CO₂を回収するものとしては、世界最大規模であり、年間約 140 万トンの CO₂を回収することができます。

本プロジェクトでは回収された CO₂を活用することで、油田での原油生産量を大幅に増加させています。また、回収された CO₂は、徹底したモニタリング体制により、地下 1600 メートルの油田内に安定して貯留されていることが確認されています。

今般、累計 500 万トン超の CO₂を回収・貯留するというマイルストーンを達成しましたが、この量は、約 120 万台の自家用車が 1 年間に排出する CO₂量に相当します<注 3>。現在、世界各地で CCS<注 4>/CCUS の操業が行われておりますが、これだけの量の CO₂を回収・貯留した実績のある事業者は数社のみであり、当社が世界的なトップランナーと言える事業分野です。

ENEOS グループは、長期ビジョンにおいて 2040 年度までにグループ排出分のカーボンニュートラル実現を目指しております。CCS/CCUS は、このための有力な手段の一つであり、当社は引き続き Petra Nova CCUS プロジェクトを通じて得た CO₂の分離・回収、輸送、圧入という、CCS/CCUS 事業全体のバリューチェーンに関する知見・技術を活用し、カーボンニュートラル社会の実現に向けて取り組んでまいります。

以上

<注 1>CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage の略。CO₂を回収・貯留することに加え、
新たな商品やエネルギー生成のために利用する技術

<注 2>W.A.パリッシュ火力発電所：テキサス州ヒューストン市南西部に所在する米国最大規模の火力発電所

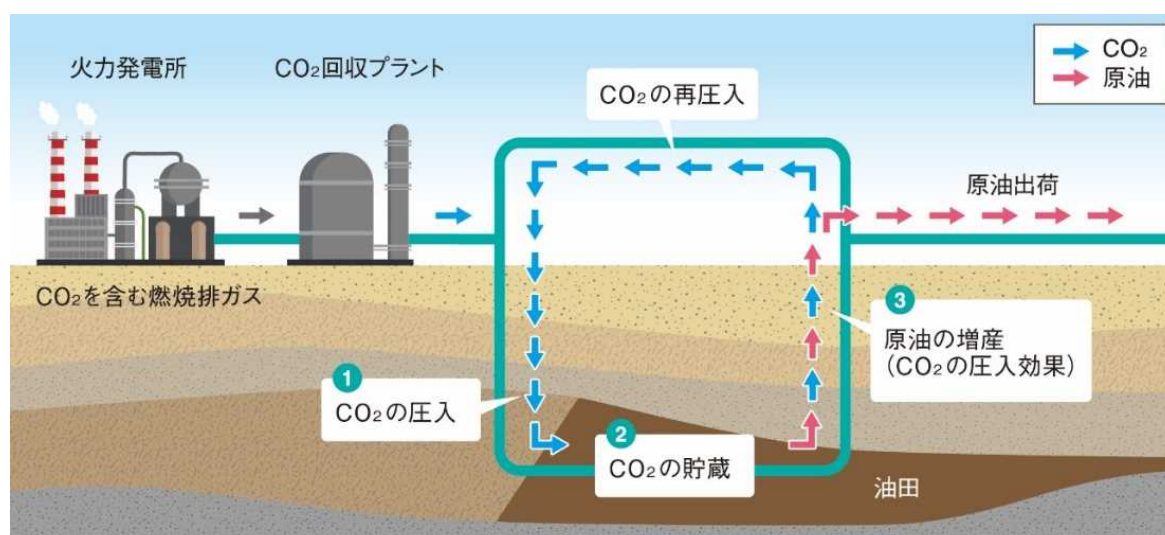
<注 3>米国環境保護庁（EPA）による温室効果ガス換算値

<https://www.epa.gov/energy/greenhouse-gas-equivalencies-calculator>

<注 4>CCS: Carbon dioxide Capture and Storage の略。排出される CO₂を回収し地下に圧入する技術



Petra Nova CCUS プロジェクトの CO₂回収プラント遠景



プロジェクト概念図